

門田 淳 議員 … 5件の一般質問



町道や水道管の安定した工事量とは

町長：町道2億円、水道管1億円程度と捉えている

門田 町長が考える町道や水道管整備の安定した工事量とは、近年と比べてどのぐらいの量なのか。

町長 発注工事量の平準化を図り、年度ごとの事業量の極端な増減をなくして、町財政の平準化、町技術者体制の安定もあわせて考えている。

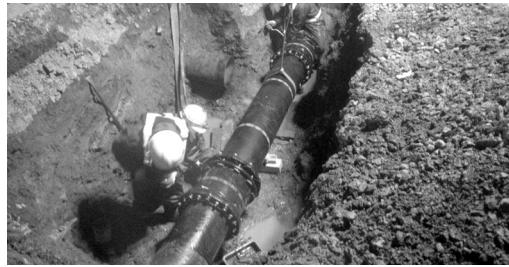
町道整備は、年間10路線、整備延長約1キロメートル、事業費として2億円程度。水道管の整備は、1億円程度が安定した工事量と捉えている。

門田 現在、耐用年数を迎えている配水管はどれぐらいあるのか。

町長 管理している配水管は、総延長で14.5キロメートルの距離があり、法定耐用年数である40年を超えている配水管が21キロメートル、全体の14.4%を占めている状態で、その中には石綿管が970メートル存在している。

門田 配水量を100%としたときに、漏水量が19.45%あるのか。この口スの部分をどう考えているのか、また、今後の漏水対策は。

町長 特に老朽管から、当然できるだけ早く対策をしていきたい。



水道管敷設替え工事

下水道事業の整備状況は

門田 平成26年度、公共下水道事業の整備状況は、全体での下水道普及率は80.6%になっており、今後どのように考えているのか。

町長 長寿命化計画により計画的な設備更新に努めている。

門田 都市計画を進めていく中で、下水道未整備地区の整備計画はあるのか。

町長 現在、本町では、都市計画区域の見直しの予定はなく、下水道区域の見直しも同様に予定がない状況である。

高砂地区への整備区域の拡大については、さまざまな手法の検討を続けていく。

門田 ホームページや町報、広報活動の推進等、下水道事業に対する理解と共同体制の構築や情報開示が必要ではないかと思う。料金なども含めて、今後、下水道のサービス向上に向けて、豊かな社会をつくっていくべきでは。

町長 公共下水道の役割についても説明し、町民にも理解してもらいながら進めたい。

子育て支援策

門田 町長の公約でもある子育て支援策の中に、延長、一時、休日保育サービスを充実するところがあるが、どのように反映させていくのか。

町長 平成30年度に開設する統合保育所は、幼保再編基本方針に基づき、延長保育については7時30分から8時までと18時から18時30分までを想定し、延長保育を実施する。

一時預かり保育は、6カ月からの子どもを対象に実施する。休日における保育サービスは、現在検討しているファミリーサポートセンター事業を早期に実現し、対応できるかどうかを含めて推進していく。

今年度の基本設計策定段階において、保育士や保護者等の意見を反映するよう努めていく。

門田 3幼稚園との受け入れ体制を含めた進捗状況、課題点は。

町長 認定こども園への移行に向けて着々と準備を進めている。

施設整備について、俱知安幼稚園は、平成28年度に建てかえ、29年度より幼保連携型認定こども園へ、藤幼稚園、めぐみ幼稚園は、平成29年度に改修、増築を行い、平成30年度から幼稚園型認定こども園へ移行すべく、計画を進めていると聞いていますので、町においてもさまざまなサポートをしたいと考えています。

門田 保育士の計画的な採用をすべき、どのように進めていくのか。

町長 保健師または看護師の採用も必要になってくるので、それに合わせた準備も早目に計画を練って対処していく。

*その他に、人事についての考えと、ふるさと納税に関する質問をしました。